



こおりやま

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskoriyama/>

鈴鹿市立郡山小学校
発行 校長 松岡 宏樹
令和8年2月3日
No.22

みえスタディ・チェックから全国学力状況調査へ

5年生では1月23日（金）に「みえスタディ・チェック」を受けました。5年生では4月と1月の年に2回受けます。自分の強みと弱みを知ることができます。そして、4月中旬の全国学力学習状況調査に向けて、自分で計画的に勉強していく力をつけていくことを狙いとしています。そこで、5年生が「みえスタディ・チェック」までに取り組んできたことを紹介します。

【学校で取り組んだこと】

- ・「今日の一問」に毎日取り組んでいます。
三重県教育委員会から毎日配信されます。朝の郡山タイムで取り組んでいます。
- ・三重の学－Viva プリント
こどもたちが苦手とする課題に対しての復習や、基本の定着を狙いとしています。全国学力学習状況調査の分析結果に基づく基礎問題が出されていますので、今求められている力をつけることができます。
- ・(全国学力学習状況調査の) 過去の問題
こどもたちがつまずくこととして、問題文をきちんと読めていない、理解できないということがあります。そのために、問題文の読み取り方を整理します。

【毎日の宿題】

- ・計算ドリル、漢字ドリル

基礎基本をきちんと身に着けるためには、反復練習は必要です。3回取り組んでいるこどもたちがいて、そのような子たちは、単元テストの点数が伸びてきています。

探究的な学習をしていると学力が伸びないという記事をインターネットでしばしば見かけます。例えば、毎日の宿題の「計算ドリル・漢字ドリル」にきちんと取り組んでいなければ、基礎基本の部分の力がついておらず、探究的な学習に取り組んでも、学びは深まらないと思います。やはり「家庭学習」での基礎基本の習得は大切ですので、家庭学習をきちんと習慣化していけるよう、お家の方でも声かけをしてあげてください。

【家で取りくんでほしいこと】

- ① 右の二次元コードから「みえの子どもたちの家庭学習の習慣化を」を見てください。特に中学年以上は、親子で見てほしいです。
(三重県教育委員会 みえの学力向上県民運動 Web ページより)
- ② こどもたちの家庭学習の様子（宿題、自主学習）を見て、ほめてあげたり、「何をしているのか」「どのような計画なのか」「どこがわからないのか」等を聞いてあげて、こども自身の言葉で言わせてあげてください。言語化することで、自分の頭の中で整理していきます。



Honda 鈴鹿硬式野球部出前授業(6年生)

1月20日（火）6年生では、Honda 鈴鹿硬式野球部の選手7名に来ていただき、出前授業を行いました。選手のみなさんと一緒にリレーをしたり、投球練習や打撃練習をしたりしました。野球の楽しさを知るだけでなく、失敗を恐れずにチャレンジすることの大切さを学びました。



一回夢をあきらめても、もう一度頑張れるところがすごいと思った。

自分の夢や目標をもつことで、自分の人生が楽しくなるんだと思いました。

夢がどんどん変わっていっても目標を達成するためには努力しているということがわかった。

自分の夢をあきらめかけていたから、この夢授業でもう一度夢に向かって頑張ろうと思いました。

小学校向け環境講座(3年生)

1月21日（水）、三重県地球温暖化防止活動推進センターから講師（お二人とも元小学校の先生です）をお招きして、「昔のくらしとエネルギー」について学びました。実際に昔の道具に触れてみたりして、今の便利な物と昔のものを比較したりしました。



昔のエネルギーは炭、人の力、薪(まき)を使っているのがわかった。

地球温暖化にならないように、ペットボトルや水筒をもって出かけます。

地球温暖化になると大雨などの被害が大きくなることがわかった。

これからは、できるだけむだな電気を使わないようにしようと思った。

レジリエンス教育プログラム6回目(6年生)

6年生は、レジリエンス教育プログラム全6回が終了しました。このプログラムは第1回目の授業の後にアンケートを取り、第6回目の授業の後にもアンケートを取ります。全6回で学んだことで、自分の中のレジリエンスの考えがどのように育ってきたかを確認することができます。

【レジリエンス的な考え方、例えば…】

- ・友だちが失敗したときに許すことができる。
- ・悩みやこまったことを誰かに相談できる。
- ・困っていることを解決するために色々考えることができる。
- ・自分はいくつかの長所をもっている。

